

第 12 回大学図書館 学生協働交流シンポジウム ワークシート

名簿 No.(5) 大学名(お茶の水女子大学附属図書館)

参加方式(オンライン / 対面)

(事前作業) あなたの大学で、コロナ禍の影響により忘れられたサービスや、新たに導入されたがあまり使われていないサービスの中から、1 つ記入してください。

※ワークシートは最大 3 枚まで準備可能です

LiSA 業務のうち、「自主企画」の発案・実施、「イベント」の実施が減少したこと。

(事前作業) 上記のサービスに対して、現在実施している取り組みがあれば教えてください。

- ・職員側が企画を提案(立案)し、参加者を募集する
- ・自主企画の立て方、流れを全体ミーティングで広報

グループワークの中で、上記のサービスに対して出た意見を記入してください。

(グループ内で出た課題点、具体的な改善策や企画等)

3 班に分けている 班分けがいいなと思っている ミッションが明確になる→動きやすくなる

学生を操るのは難しい 内発的な動機じゃないと動かない やりたいことはパワーを発揮し始める

高校時代から何か自主的に活動したくても、コロナ原因でだめっていわれたりとか。じぶんたちが自主的に言ったことでも大人がきめていく感じがあって、いうすべがわからない

押し通すのもあきらめてしまう

アイディアマンを軸に配分できれば動けそう

大人としゃべっている感じ、話を聞いてくれる感じがうれしかった 話しかけられたらうれしい→きっかけまち

動画+学生目線で取り直してくれないかな→アイディアとして出した スキル高めたい意欲 説明会・の説明会に参加して自己啓発→アイディアとして出した この2つはやってくれない

マガジンで出したい、コンテンツのネタがない→ネタとしてならやる気が出る

ミーティング重ねないと難しそう コミュニケーション大事

宇部フロンティア;リフロの活動の中で、グループで会話するときに、職員がいる

SNS を動かしたい要望、図書館の中で飲食したい→何か結びつかないかな

レポートかけない→レポート講習会野郎→イベントにしちゃう

何気ない意見が拾うタイミング 形にするにはというところに協力する

学内で知ってもらう、学内に発信していく ここが学生と職員の気持ちが一緒なところ

学生は任期が短い→がんばっても成果が見られない、後輩が引き継ぐ必要があるのか、単発なのか継続なのかは学生と話している

学生が動くというところを大事にしている スルーしたところを拾う

エネルギーが学生が減って生きている 新しい案を出すのは難しくなってきた

汲み取る能力、救い上げる能力が必要